

## 本時のねらい

・文を読んで、「主語」と「述語」を見つけ、主語と述語を使った文を作ることができる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・主語と述語を見つけて、電子黒板上で色分けする。  
・簡単な操作により間違った時にはすぐにやり直しができ、試行錯誤しながら学びを深めることができる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・SKY MENU Class 発表ノート ・電子黒板

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○映像を見て、内容を文で伝える。</li> <li>・電子黒板に記入。→最後のふりかえりに使用する。</li> <li>○単語の組み合わせ</li> <li>・単語カードを使って、主語と述語を組み合わせて偶然できた文を楽しんで読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板に直接書き込むことで、児童の発表をその場でまとめることができる。</li> </ul>
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主語と述語を知る。</li> <li>・『導入』でできた文から考え、文が主語と述語で構成されていることを理解する。</li> <li>○文づくりをする。</li> <li>・主語につながる述語を探して、正しい文をつくる。</li> <li>・主語と述語の間に言葉を増やして、詳しい文にしていく。</li> <li>○文章から、主語と述語を探す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・述語となる単語を用意しておき、タブレットを操作しながら簡単に文作りができるようにする。</li> <li>・述語（どうする、どんなだ、何だ）の種類は、色を変えて示すことで視覚的にも分かりやすくしておく。</li> <li>・問題を 1 文につき 1 ページずつタブレット上に表すことで、イラストを用いた視覚支援を併用し、文の内容理解につなげる。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○最初の映像を見て、もう一度文を作る。</li> <li>○今日のふりかえりを文にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残しておいた電子黒板の文に、直接書き加えることで、より詳しい文になったことが、すぐに確認できる。</li> <li>・児童の言葉を入力した文を、本時の学習の記録として残す。</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



モニターを使って、本時の課題について説明している場面



新しく学んだ「主語」「述語」の文字を入力している場面



文の中から、主語と述語にラインを書き入れている場面

## 児童生徒の反応や変容

・練習問題を 1 文につき 1 ページにしたことで、意欲的に取り組むことができた。  
・導入時の文章を「主語」と「述語」を意識して再構成することで文法の役割に気づくことができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・電子黒板とタブレットを併用し、映像とワークシート、板書を効果的に切り替えることで授業を効率的に展開することができ、児童が学習内容を理解するために必要な支援を行うことができた。